

# 事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	工事検査事務			事業コード	0137
所属コード	32200	課等名	契約検査課工事指導検査室	係名	
課長名	岩井 純三	担当者名	舞良 真	内線番号	2840
評価分類	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 公の施設	<input type="checkbox"/> 大規模公共事業	<input type="checkbox"/> 補助金	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	8	
	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード	2	
	基本事業	公正な行政事務の確保	コード	4	
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 1 目 工事検査事務 (015-01)				
特記事項					
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 63 年度
根拠法令等	「地方自治法第 234 条の 2」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」				

### (2) 事務事業の概要

市が発注する請負工事の完了等を確認するため、契約図書に基づき検査を行うとともに、工事についての評定を行う。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

地方自治法の規定により、工事についての請負契約の適正な履行の確保と工事完了等の確認を行うため、昭和 63 年度に工事検査室を設置し、事務を開始した。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

当初からの工事完了検査に加え、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」及び「同法施行令」の平成 13 年度 4 月施行に伴う「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」の制定を受け、当市においても工事成績評定を行い、発注工事の適正な施工と品質向上を図るため、平成 14 年度に「請負工事検査要領」及び「工事成績評定要領」を改正した。

工事成績評定の結果は入札参加資格審査のほか、平成 20 年度から実施している総合評価落札方式競争入札にも反映されており、工事受注者などの工事に対する取り組み状況や、工事成績に対する意識等に変化が表れており、適正な施工と工事成果の品質向上に寄与している。

平成 22 年度には水道部と下水道部の統合により、これまで水道部で行われていた水道部門の工事検査を当課で行うことによる業務の一元化を図り、工事検査事務の効率化を行っている。

平成 23 年 1 月に発生した市発注工事に関連した職員逮捕や不適切な工事実施の発覚により、これらの再発を防止し公正な職務執行を確保のための工事検査や審査の強化が求められている。

## 2 事務事業の実施状況 (Do) . . . . .

### (1) 対象 (誰が, 何が対象か)

市が発注する請負金額 130 万円以上の工事

### (2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 請負金額 130 万円以上の工事件数	件	301	375	340	275	320
B						
C						

### (3) 24 年度に実施した主な活動・手順

工事担当課からの検査依頼を受け, 工事目的物が契約図書どおりに完成しているか, 請負工事検査要領により検査を行い, 確認するとともに工事成績評定要領により工事の成績評定を行った。

検査は, 契約検査課の職員が行う検査 (執行検査) と他課の職員に行わせる検査 (委託検査) があり, 請負工事の必要に応じて, 指定部分検査, 出来形検査及び中間検査を行っている。

また, 工事の適正な実施を行うため技術職員を対象に監督員研修を開催し, 工事変更や安全管理などに関する工事監督, 指導の知識とコンプライアンスの向上を図った。

さらには, 工事における適正な履行の確保と不正防止にむけて設計図書の審査や任意抽出した工事の中間検査を試行した。

### (4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 執行検査件数	件	268	242	270	176	270
B 全検査件数	件	341	434	350	327	330
C 成績工事評定件数(完成検査件数)	件	301	375	340	275	320

### (5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

工事成績評定結果を盛岡市市営建設工事請負契約競争入札参加資格者の格付け及び総合評価落札方式競争入札へ反映することにより, 受注者の工事に関する意識や技術の改革を促し, 工事品質の向上を図る。

また, 工事検査室が行う執行検査率を高めるとともに, 工事設計図書の審査や任意抽出した工事の中間検査の実施などを行うことにより工事の品質の向上と契約の適正な履行の確保を図る。

### (6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	22年度実績	23年度実績	24年度計画	24年度実績	26年度目標値
A 執行検査率 執行検査件数/完成検査件数	■上げる □下げる □維持	%	89	67	77	64	80
B 工事成績評定が優秀(評定75点以上)な工事件数/工事成績評定	■上げる □下げる □維持	%	78	85	80	75	80
C 検査による文書指示(手直し等)工事件数	□上げる ■下げる □維持	%	0	0	0	0	0

### (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22年度実績	23年度実績	24年度計画	24年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	1,061	1,106	1,100	1,106
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	1,061	1,106	1,100	1,106
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	6,055	6,687	6,100	6,243
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	24,200	24,400	24,400	24,972
計	トータルコスト A+B	千円	25,281	25,506	25,500	26,078
備考						

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

(1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

記入不要

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

工事の完了検査は年度末などに集中し、現在の体制では多くの工事完了検査を委託せざるを得ない状況となっていることから、工事完成時期の集中を抑制し、検査件数の平準化を図ることで、執行検査件数の増加が可能となる。

(3) 公平性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

記入不要

(4) 効率性評価

工事検査は工事完了検査に加え中間検査などは増加傾向にあり、検査の件数は増加することが予想される。一方、検査体制は必要最小限（室長1名、建築工事担当1名、土木工事担当1名）となっており、これ以上の経費節減は見込めない。

## 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

### (1) 改革改善の方向性

工事完了検査時期の平準化を図ることで執行検査率を高めるとともに、設計図書の審査や任意抽出工事の中間検査、請負金額130万以下の小規模工事のうち任意抽出した工事の完成検査の実施。

### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

工事の完了検査は、工事検査室による執行検査において適正に行われる必要があるが、年末や年度末となる12月、3月に集中し、現在の体制では多くの工事完了検査を委託せざるを得ない状況となっていることから、工事完成時期の集中を抑制し、検査件数の平準化を図る必要がある。

また、工事の品質の向上と契約の適正な履行の確保するための設計図書の審査や任意抽出した工事の中間検査や小規模工事の完成検査を実施するため、工事検査室の執行体制の見直しを図る。

## 5 課長意見 . . . . .

### (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

平成25年4月から工事指導検査室が設置され、上記「事務事業の改革案」の課題に取り組む体制が整備されたので、工事完了検査のほか、設計図書の審査、任意抽出による工事の中間検査等を着実に実施しながら問題点を検証し、工事等の適正な履行の確保と不正防止を図るための方策について更に検討を行っていくものとする。